

# 声 明 文

去る3月11日に発生した「東日本大震災」で亡くなられた方々のご冥福と、被災した方々の健康の維持と被災地の1日も早い復興を祈願する。また、被災した医療機関、職員を失った医療機関にお見舞いを申し上げます。そして被災されながらも懸命に医療を継続している医療機関、および、被災地を支援する医療機関の奮起に感銘し、仲間として誇りに思う。

また、地震、津波による被害ばかりではなく、原子力発電所事故、ならびにそれに伴う計画停電による、被災地および周辺地域の医療機関の業務停止あるいは制約に対する国の支援を強く要望する。

被災地のみならず周辺地域、さらには、日本国全体が被った直接的・間接的影響はきわめて甚大である。この非常事態に対して、国を挙げて復興に取り組むべき戦略を、早急に検討し国民に明確に提示することを要望する。

ここに全日本病院協会は、その復興に全力を挙げて活動することを宣言する。

平成23年3月26日

社団法人 全日本病院協会

第96回定期代議員会